

6 考察

(1) 少人数指導

少人数だったので、一人一人に次時へ生かすための形成的評価ができ、きめ細かく児童と関わることができた。～子どもと算数を創る～

習熟度別学習

「計算の見積もり」で行ったコース内容よりは、本単元の方がよかった。今後は、コース内容をしっかり吟味し、児童のニーズに合ったものでないといけないと感じた。自己評価して自分でコースを選択していく回数をもっと重ねていくと、より自分に合ったコース選択ができるようになると思う。

情意面アンケートより (5年生の声)

- ・ だんだん分かりやすくなってきた。
- ・ 難しいけど考えると楽しくなってきた。

できる楽しさ

- ・ 先生がよく見てくれる。
- ・ 発表や質問がやりやすい。
- ・ 発表の回数が増えた。

きめ細かな指導

- ・ 友達の考えと比べられる。

学び合い

- ・ 自分でコースが選べて、復習できる。
- ・ 自分が選んだコースは楽しい。難しい。もっと完璧にした

習熟度別学習

(2) 評価

評価基準をきちんと位置づけておくことで、児童への支援がはっきりし、どの児童にもしっかり関わることができた。どの場面でもどの児童に支援していくかという指導者(教師)の姿勢も大切であると感じた。

本時、練習問題ができていない児童への声掛けは、できていない児童への間接的な情報提供になった。

本単元は、表から分かる増えた数と図をしっかりと関連させて、視覚的に確認していくと遅れて進む児童への支援になったと考えられる。

<今後の課題>

形成的評価をどのように総括的評価に生かしていくか。

- ・ 職員間の共通理解を図っておくことが大切(体制づくり)
- ・ どのような評価をしておくか。

個に応じた少人数指導だったので、より多くの児童に基礎・基本を定着させることができ、数学的な考え方も少しずつ育ってきた。

